

◆数のしくみが理解できる

子どもが数字を習い始めのころ、28を書くのに208(にじゅう・はち)と書くことがあります。これは数字を書き表すときに「位取り」のしくみを理解していないからです。数を具体的に玉で表すことで、幼児にもわかりやすく、位取りや十進法の理解につながります。

◆計算の筋道がわかる

電卓はキーを押すだけで答えが出てくるので、計算の筋道が分からず、計算力は身に付きません。しかしそろばんでは、例えば「7に8をたすと10繰り上がり15となる」という筋道のたった思考を通して、計算力が身に付きます。

計算力が身に付くと、桁の大きな数、小数の計算へと発展させ、いろいろな場面で正しく速い計算処理ができるようになります。

◆根気と集中力、 チャレンジ精神を養う

今、子どもは「集中力がない」「ねばりがない」と言われる反面、興味のあるものには関心と執着を示します。そろばんの学習は、精神を集中しなければならず、計算中は一言もしゃべらず無心に一つのことに打ち込むため、大切な集中力、根気が養われます。また、より難しいものに挑戦するチャレンジ精神も養われます。

意外と知らない、そろばん学習の効果

◆高齢者の脳が元気に

脳の若さを保つことはもちろん、1日に数十分の練習で認知症の症状が改善されたという研究報告もあります。指先の細かい動きと目・脳の働きを連動させるそろばんは、認知症の予防にも注目されています。

◆脳を活性化します

目や耳から情報が与えられ、その情報を正確に指先で動かす。それを繰り返す。この動作は、非常にレベルの高い集中力が必要となり、結果として左の脳を鍛えることに役立ちます。

また独創的なアイデアや創造的な考えには、右脳の働きが深く関係しているといわれています。そろばん式暗算は、そろばんの玉を頭の中に浮かべて、玉を動かします。それには、右脳の働きの協力が必要となります。

特に人間の成長には、左右脳のバランスのとれた発達が望ましいとされています。

そろばん学習の効果

